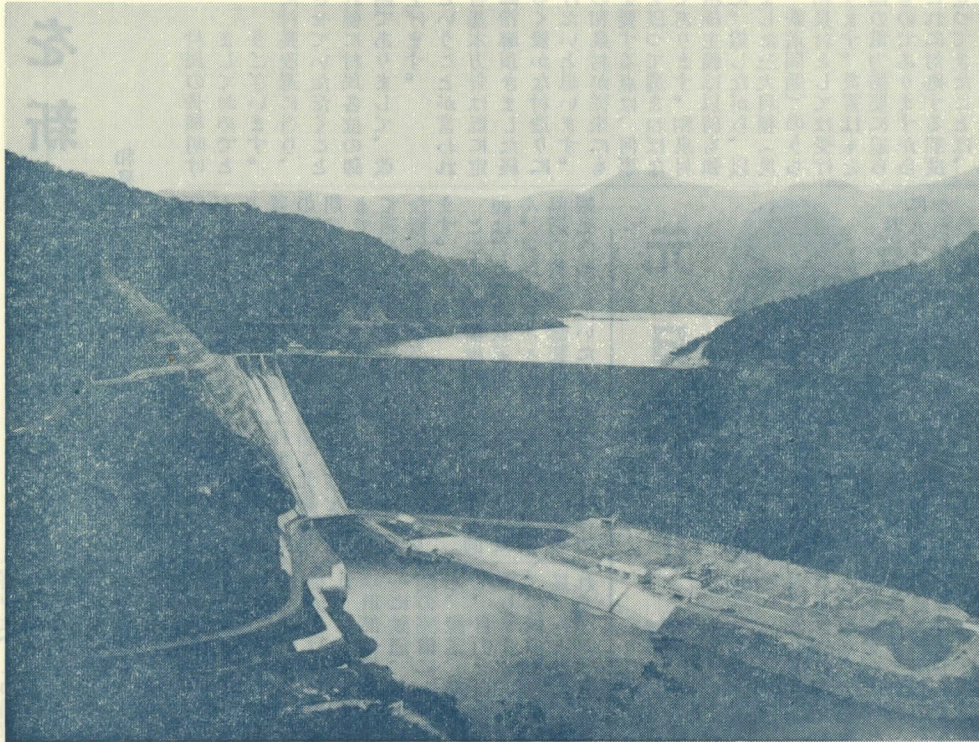
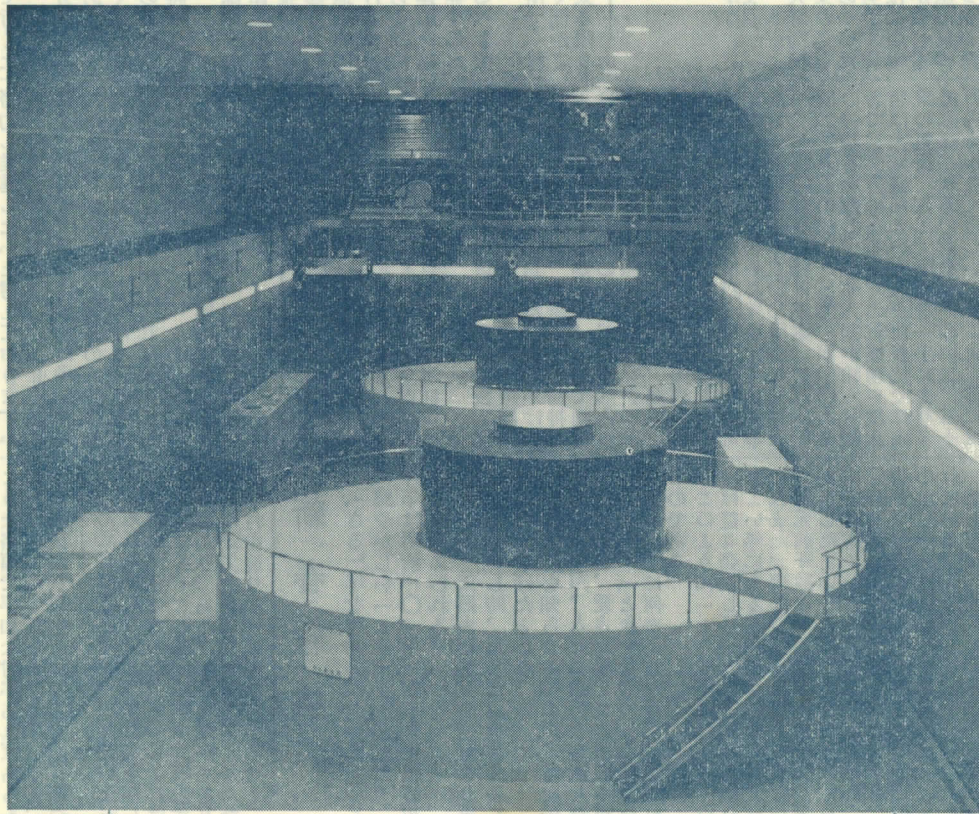


大
意
を
疎
略

迎 春 1969 元旦



電力源 22万 Kw の発電機



▼ 一年の計は元旦にあり



発行所
福井県大野郡
和泉村



(昭和43年12月1日現在)

村の人口	
出生	4人
死亡	0人
転入	18人
転出	53人
総人口	2,876人
男	1,522人
女	1,354人
世帯数	823世帯

村の面積
332.26平方km

今月の目標

- 一、お正月は一家団らん、健全娯楽で過しましょう
- 二、屋根の除雪は早目に、道路の除雪に協力しましょう
- 三、火をつかうことの多い月、火の元に充分気をつけよう非常の場合には役場へ電話 下穴馬 一番四十一番 一二〇番

決意を新たに

和泉村長 杉本 又助



村民の皆様明けましておめでとうございます。どうぞよろしくお願いいたします。

過般行われました村長改選に当り、引続き村政を担当させていただきますことになりました。これ偏に村民各位の御理解ある御支援の賜でありまして、改めて厚く御礼申し上げます。

「人心の一新」ということが言われますが、本村の場合基本方針は既に定まっております。従来御指導頂きました経験を生かして、明るく豊かな村造りに私の政治生命を捧げたいと思っております。さて、今年からの和泉村が従来にもまして一段と決意を要する点は、何事にも自主的積極性を以つて進まねばならないということであり、和泉村の独自性をもつた積極主義は以前も強調されて参りました。然しながら、以前取り組んで参りました三大目標（災害復旧、電源開発、鉄道問題）のうち先づ二つですが、和泉村としては受け立つた問題であります。災害はもとより、電源開発も国の電力需要に迫られて実施せられたものでありますからしたが、本村のこれに対処する態度には、勢い受身に立つてきたことは、かくせぬ事実であつたと申さなければなりません。しかし先の三つのうち鉄道問題は始めから積極的であり、また、鉄道建設は吾々数十年來の悲願として、如何なる事があつても是だけとは望んで来た処であります。

然るに、近時ご承知のように赤字ロカル線の廃止が論議されるに及んで他町村では是を受けて立ち、廃止反対

存置要請と打つて出て参りました。だが、私共和泉村民の気持ちはどうでありましょうか。吾々は、廃止反対や存置運動くらいに甘んじてはおられないのであります。一步を進めて北線の早期完工を要請し、南線との連結をみるまでは、如何なる障害をも、のり越えて邁進しなければ止まぬという、非常な積極的努力を必要とするものであります。

元旦の正夢

村議会議長 尾崎 彦次郎



皆さん新年おめでとうございます。出とうございませう。

お雑煮をたらふくいたたいて、炬燵に入り、賀状を見るうちに、うつらうつらしかけたまでは覚えていないが……その後は……

「ゴウゴウ」薄暗いトンネルが少しづつ明るくなって来るのと、騒音が反比例していくのに気付くと、騒音もあたりのパツと明る。一面真白い雪の中に一条の鉄路が光る。下山鉄橋の二輛連結の汽車が止まる。下山の生徒達が元気よく乗り込んで来た。間をわいわい騒いでいるうちに発車した。間もなく朝日駅に着いた。ちょうど二番ホームに後野や前坂の生徒と通動する

吾々は、この過疎地を開発して行く上には、従来ややもすれば心の隅にひそんでいた「受けて立つ」気分が微塵ほどもあつてはならないのであります。自力更生ということが昔よく言われましたが、和泉村の今日程この言葉の持つ意味の自覚を要請される時はないのであります。

世紀の事業とも言われた電源開発の工事完成によつて、九頭龍川建設事務所が閉鎖されたに伴い、和泉村の現住人口は遂に三千台を割つて参りました。この人口過疎の和泉村を地理的に平坦部や都市へ少しも近づけるには一に鉄道、二に国道、これら交通機関の完備によつて、外界との連結を縮め、産業、観光の両資源を開発するべく、自力を以つて努力を重ねるべきであります。

村民の皆様との話し合の場所です。「村長、何とかしてくれ!!」とよく聞かれますが、村も産業振興に出来る限り

人の姿が消えて、上り列車へ大野高校へ通う生徒がおし合いながら乗り込むところだ。駅の引込線では雪のついた杉丸太を村人達が早朝から威勢よく積み上げている。駅の構内には「中電運輸」と記した大型トラックが五台もいる。ブーンと重鉛の匂いが風に飛んで来る。駅前にはスキー客がゴツタ返して来る。汽車がついて（四六年開通見込）只越トンネルが完成して（今年是非とも着工したい）から、こんなにも村が変るものかと……汽車が動き出した。外へ出て角野橋に来るとの大花園のようだ。赤、青、黄の原色の。ロッチも見える。河原はダムのために水がなくなり駐車場になってスキーパーと自家用車でうずまつている。

努力し推進したいと考えておりますから、村民の皆様も「自らの幸せを創りだす」ために、自ら積極的に働いていただき、隘路の打開、障害の排除等については、村としても何なりと御相談に応じ、為すべき施策あれば大いに努力いたします。

今年からは「自ら積極的に努力を！」とお呼びかけして、年の始めの御挨拶といたします。

村は民宿で、まるで温泉場のような。向ふ駄良がこの通りです。聞けば春から秋にかけて石徹白川筋の村々は無釣りの民宿でにぎわうというし、また箱ヶ瀬附近にはドライブインが十軒余も並んで、学生や一般客が連日満員の盛況だ。

それはそれは、道路は完全舗装（国道は四五年全線完了）で昔の一般国道なみ、それに名所白馬洞、夢のかけ橋、一大人造湖、ダム、大垂滝、白龍橋、天狗岩などがあるからだ。町へ入つて目のつくのは立派な鉄筋コンクリートの建物だ。役場、森林組合、農協、商工会館、漁業組合、中電鉱山事務所、小学校、中学校、それに広い土場をもつ木材市場だ。驚いて行き交う人々を止めて聞いて見た……森林組合は大山林事業を営んで毎年三〇〇町歩の植林と一、五〇〇町歩の撫育事業、それにも労働者を擁し、その六割が輸入労働者で、夕方になると町の遊技場や飲食店は大繁盛だ。また農協では山菜の集荷、加工、販売を一手にやり各農家はこれ等の副業で一春に二、三万円もかせぐらしい。その外、町には山林労働者やその他の使用する資材の店（金物店、呉服店、機械店、クツ屋、雑貨屋）が軒を並べ、その間に飲食店、遊技場、土産物店、旅館など、かつての大野三番通りの有様でダム景氣を上廻るといふ。どの部落も山林事業の労働収入と山菜採集、杉苗造り、観光（民宿と土産品）収入で、どの家庭も年収一五〇万円を下る家はなく、また商店街もこれを上廻るといふ、全く夢の

新春雑感

「さる」年を精力的に送つて、ここに輝やかな「とり」年を迎えた。今年には明治一〇一年、新しき世紀の出現とも考えられる。

その昔、天照大神が天の岩屋より再び出て給いし時、鳥うたい世界の新しき出発を告げたという。一日の暁を知らせる鶏の聲、昼を告げるときの声、人々に活力と意欲と発展を促がし、愛され親しまれているが一旦夜中に「とき」をつくらんか、たちまち人々は何か不吉な予感に襲われるのである。

このように「とり」年は調子よくいけば益々発展し活気と希望に満ち溢れたよい年になるが、一步調子が狂えばこれまた大変な悪年にもなりかねない。紀元前千数百年 中国人の祖先が考へ出したといわれる「十干二支は、日本では古くから「えと」ともよばれ、組合せによつて六十種となり、年月、時刻、方向を示すものとして今尚迷信のたぐいとはいわいづつも各地で云々されていく。

たとえば、四月を卯月（うづき）とみつたり、夜中の一時を酉時（うし）（みつどき）といつたり、酉（とり）が正西の方向にあたるともいつている。しかしこれらは、わかりやすいように絵ごよみにしたり、動物の名をあてはめたりしたのわかれとして、迷信とは知りながら長い伝統に左右されている人間社会に、これも生活の綾（アヤ）としてかたづけられないものである。

貫き通せ 越美線

十二月定例会

十一議案を可決

一般会計 昭和四十二年歳入歳出決算も認定

第五十一回定例村議会は、十三日開会され、会期を十八日までの六日間と決めたあと、給とおよび旅費等に関する条例の一部改正案を始め、辺地総合整備計画案、一般会計及び特別会計補正予算案や、任期にもなう助役、収入役の選任についての同意など議案十一件と、昭和四十二年一般会計ならびに特別会計歳入歳出決算の認定(各委員会に付託)六件が審議され、いずれも原案どおり可決及び認定された。その主なものは次のとおりである。

一般会計九百四十万円を追加

一般会計第三次補正予算は、総額九百四十九万二千円が追加され、既決予算を合わせた本年度累計額は、二億三千八百六十六万五千円となり、前年度同期(昭和四十二年十二月第三次補正予算累計)に対して約三千万円の減額となった。又、今度補正された主なものは、計画変更等における道路新設改良費を始め、救急車の購入、人事院勧告に基づく一般職員給与等のペースアップなどとなっている。

一方、特別会計においては、国民健康保険事業(第一次補正)の九万一千円、診療所事業(第一次)二十三万三千円、農業共済事業(第二次)二十三万七千円が、それぞれ補正された。

助役宇野重豊氏

収入役には平野勇氏

今年十二月二十日をもって任期満了となる助役および来年二月二十一日任期切れの収入役の選任についての同意は現助役の宇野重豊氏(五十八才)と現収入役の平野勇氏(四十四才)が、それぞれ満場一致で議会の同意を得て再選された。

又これら助役及び収入役の選任同意と共に、農業共済損害評価会委員の委嘱についての同意も行なわれた。

委嘱された評価委員は次のとおり

吉岡 淳(五十八才) 上大納

松田 守(五十四才) 下山

森尾 正(六十五才) 板倉

吹屋与市(四十八才) 貝皿

巢守栄太(六十才) 後野

只越隧道実現へ!

県当局に陳情

村内大納地区へ通じる県道は、冬季間、雪崩のため人命が危険にさらされたこともしばしばあり、大雪の年は角野より只越山を越えて往來していたが中竜鉱山の発展とともに通行も著しく増加し、人命の安全と輸送力確保のため付替県道として只越山に隧道を掘さくし、安全路の開設を望む声しきりであつたが、昭和四十一年村議会に特別委員会を設け調査研究、当局に陳情した結果、四十二年において当局の測量調査が実施された。この上は一日も早く実現をと要請を続けていたが、思うような成果が得られなかつたので、昭和四十四年度は是非共着工の実現を見るべく、強力な運動を展開することになり、十二月十七日、村と議会が県庁に知事を訪ずれ実情を訴へ陳情した。

伊月村道を新設改良

辺地総合整備計画は、住民の生活文化水準の著しい格差の是正を目的に、国が定めた基準により辺地における公共施設の総合的且つ計画的な整備を促進させようとするもので、本年度は、

越美北線に寄せる

去る十二月三日、知事を会長とする「越美北線、三国線存置期成同盟会」が、県総ぐるみの態勢で発足したことが、国鉄諮問委員会の「赤字ローカル線廃止に関する意見書」発表以来、憂慮に閉ざされていた吾々にとつて、大きな心の支えになると共に、最終目標である越美南北線完通促進に、更に意欲と勇気を与えてくれたし、将来沿線地域の開発は素より、本県の総合開発の上からも、画期的意義をもつものであると考へる。

昭和四十年早春、越美北線勝原朝日間の工事着工決定の朗報は我々を歓喜せしめたが、爾来予算獲得に宮々たる努力のうち、工事は進捗し、昨年秋季には第三工区(下山附近路盤整備等)に着手すると共に、今夏以来朝日地係の用地買収交渉が進められている。吾々が先輩の代から実に永い間、独力でもつて努力を続けてきた越美北線の問題が電源開発を契機として漸やく県の本腰を入れる態勢となつて盛上り今、現実に工事進行中の路線が、単なる福井と大野間の赤字の故をもつて廃止などされてたまるものではない。憲

後野地域における伊月村道の新設改良が計画された。この計画は、電源開発関係水没村林道代替事業として、このほど完成された伊月永久橋と、山原より伊月に至る村道(山原一貝間間は未着工)を結ぶ三〇〇mで、これが完成されると、物資の運搬、消防力の強化を始め、生産性ある山林の開発も可能となり、この村道の全線完成が待たれている。

法第二十五条に、すべての国民は健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有するとのある。例え中央、地方を問わず、どれだけの線が永久に赤字であるうと、文化的生活の保障においてそれに伴うもの、即ち政治貧困のそしりをまぬがれるものではない。

国鉄は、二言目には「赤字、赤字」と極めつけているが、ちなみに、越美北線が朝日まで開通されると、中龍鉱山の増産計画による鉛、亜鉛等の日産二五〇余トンを始め、石灰、鉄鉱等九〇〇トンの輸送が必要となり、これに木材等を加えれば赤字路線など夢物語りとなり、更に南北線を結べば、中京関西方面との交流が容易となつて、まことに夢多き楽しい路線となることは必定である。かかるが故に吾々は粉骨して越美線の完遂を期せねばならないのである。

決定でないことを強調しているが、それは当然のことである。わが村の如き冬期間の豪雪地帯において、自動車輸送ではとうとう問題にならない多量の物資があり、よもや廃止など夢にも思っていないが、全国の廃止予定路線八十三線のうちに入っていることは事実であり、油断は禁物、全力を尽して安泰なものとしなければならぬ。年々増大する赤字対策に苦慮する国鉄の気持ちも分らないではないが、何も地方線のみ対象としなくともよいのではないかと反撥したくなるのだ。大都市のどまん中を走る路線のほとんどが赤字であるというし(これは通勤者の定期があまりにも安いためであるという)国鉄の利子補給、施設市町村に対する交付金制度等、吾々素人が考えても何か腑に落ちない点が多く、身近なところで合理化や赤字処理が考えられるように思われ、何も地域格差や過疎を助長するような地方線へしわ寄せをしなくてもよいのではないかとひがみたくもなる。

ともかく、日本中、都市に住む人も辺地に住む人も、みんな幸福になつてもらいたいが、差当り均等を計る意味において先ず一番遅れている辺地の交通網を整備して、乗客、輸送の便を急いでもらわねばなるまい。辺びな山奥にも人間が住んでいるし、美しい山や川も、変化に富んだ多くのダムや満々たる湖面、開発すれば山程ある資源もあるし、おまけに暖かい人情もある。一度来てご覧じろ。百聞は一見に如かずというところもある。中央頭官諸氏のご来駕を願うものである。さて、今年こそ、大いにハツスル、心を合せて、初志貫徹に奮進しようではないですか。

暖房器具の取扱に注意

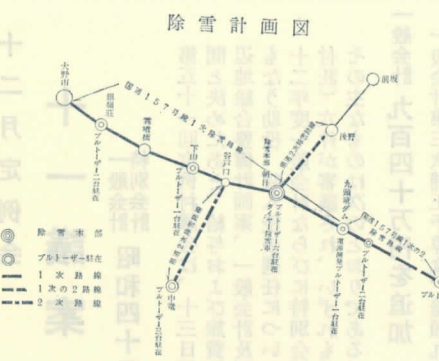
冬期道路除雪計画

機動力で常時交通確保

本格的な降雪を間近に今度泉村工務所と和泉村にて除雪計画が決まりました。

本年は和泉村工務所へタイヤ除雪車一台の配置があり尚村内建設業者の協力を得て強力なる除雪が行はれます。計画によりまずと積雪量十五センチになりまずと直ちに除雪作業に入り主要幹線の道路交通を確保する除雪主要道路の順位は第一次路線として国道一五八号線大野市より九頭竜ダム間とし常時二車線の確保とし第一次の二路線として国道九頭竜ダムより岐阜県境までを常時一車線確保する。第二次路線として奥道谷戸より中龍鉦山守衛所前尚石徹白線朝日より後野間を常時一車線の確保をし順次村道の除雪も強力に進める計画であります。

除雪については能率的な然も有効適切な作業をするため沿線の皆さんの御協力を御願いたします。除雪に對しての御願



雪の事故に 注意しよう

◎道路わき、待避所等障害物を取除く

◎消火栓、水道栓には完全な標識を設ける事

◎道路に面した戸、庭木等破損しない様、板垣等で完全な囲いをする事

◎屋根雪降しは除雪前におこなはず様に除雪車の作業に迷惑をかけない事

◎除雪車作業中は、軒下等より雪を出さないで責任者の指示に従う事

◎道路ぞいの用水路が作業のため一時洪水した場合には全員協力して防ぐ事

◎道路附近の空地へ一時雪を押し出す場合もありまずから御協力下さい。

尚除雪作業中状況により物件等の破損等あると思はれますがこれについての補償は致しませんから御承知下さい。

委嘱辞令が交付

厚生大臣から新民生委員に

民生委員の改選に伴ない、昭和四十三年十二月一日付で次の十三名の方々が民生委員として委嘱されました。民生委員は、県知事の推せんにより厚生大臣が委嘱するもので、地域住民の福祉向上のため、生活保護の手續、身体障害者の手帳交付手續、補装具の交付申請手續、世帯更生資金の貸付申込み、母子家庭の問題など、その他厚生全般にわたつて、皆さんの相談相手となり活躍いたします。

任期は三ヶ年であります。

- 朝日前坂 加藤房代 34才(新)
- 後野 巢守栄太 60才(再)
- 貝 皿 中村主男 40才(新)

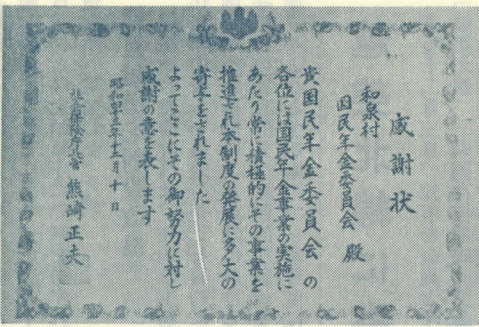
川合	平野ちよ	39才(再)
朝日	朝日秋子	46才(再)
三島	三島藤子	43才(新)
角野	吉川秀雄	40才(再)
板倉	田中市松	61才(再)
森尾	森尾治男	46才(新)
下山	林昭明	40才(再)
下大納	松田忠直	32才(新)
上大納	登久男	35才(新)
中龍	伊藤 澁	52才(再)

社会保険庁から

国民年金委員会へ感謝状

去る十二月十日開催の福井県国民年金推進協議会総会で、優良国民年金委員会、永年勤続市町村職員表彰が行われ、当村民年金委員会は社会保険庁から、国民年金事業の積極的な推進とその努力に對し感謝状が贈られました。

これは国民年金推進委員の方々の努力と国民年金被保険者の協力によるものであり、お喜び申し上げますと共に、



感謝申し上げます。

また、福井県国民年金推進協議会からは永年勤続国民年金事務担当者として、丸山きよ子さんに国民年金制度の普及推進と適格な事務処理の努力に對し感謝状が贈られました。



改革と開拓

和泉村にとつては、電源開発工事は有史以来の大改革であつた。そして早晩来るべき運命でもあつた。

機械文明の発展して止まない今日、いつまでも和泉村はへき地として社会から隔絶された安穏平和な生活に甘えていられなくなつてきた。子供は大きくなつて都市へ流れていく。都市とへき地の格差はいつかこの不均衡を破らねばならない。こうして胎動は幾十年前から村民の心の奥く深沈滞していた伊勢湾台風が続く豪雪は村民の心をゆさぶつた。ついで電源開発工事は、起り得べくしておこり、拍車をかけた。果せるかな村民の足は水没と共にへき地を離れた。へき地に留まる強力な生活の魅力が見たせなかつたのである。工事中は憧れの格差は縮められ生活水準は一躍向上した。しかし今となつては線香花火の幻の如く、一夜の夢のような、はかなさと、心のうつろさを秘めながら静寂にかえりつつある。いよいよ、どたん場にきた感じを強くする。万一この上予期せぬ不幸が襲来せんか、村は総崩れの脆ろさにある不安定な現実が昨今の現状であろう。

開拓とは、産業経済もさることながら一番大事なのは人の心をひろくことである。切角の資源風致と労働力をいかに活用するか、これがわれわれ村民、一人一人の真剣に取り組まねばならない責務であり、生きる道である。昨年一九九九年の「こだま」はつぎのことを呼び続けてきた。一月生業対策への期待。二月道路整備と交通規制。三月平和を乱すもの。四月国体と和泉村。五月冬季の道路を考へて。六月共有山林は泣く。七月用水は濁水。八月生業不安拾頭。九月和泉の苦惱。十月越美北線が行え。十一月觀光に想う。十二月今冬の道路除雪。「こだま」は社会の暗黒面ばかりのぞいてぐちつてゐるのではない。あまりにも村民の要望が強く関心が高いからである。今、大声をあげて天下に公表できるものは何か。ダムは完成された。美観はすばらしい。しかし一度見たら二度と訪れるだろうか。私たちが以前御母夜叉を見に行つたように、消費では飯は食えない。生産立村に力強い立ち上がりが見えぬ望まれる。一部の利益や一部の生活保障はたつても、一部は崩れていく。ここに村全体の活路を見つけねばならぬ必然性がある。一人よがりはやがて村をさびしくする。想う、貞山政宗公の遺訓を仁にすぎれば弱くなる。義にすぎれば固くなる。礼にすぎればへつらいとなる。智にすぎればうそをつく。信にすぎれば損をする。何か私たちをうなづかせるものがある

福井県総合教育研究推進校

十二月九日 研究 発表【才二年】

12月9日 朝日小学校

当校は昨年、県教育委員会より総合教育研究の指定を受け

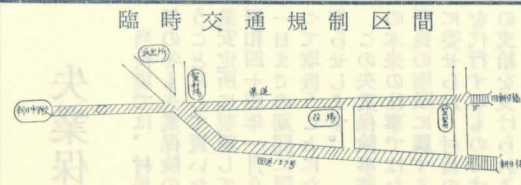
「研究主題」へき地児童の主体的学習は、どのようにすればよいか。

という点について教師児童一体となつて学習効果の高揚と、協働性豊かな主体性ある第二の国民になろう!とたいがい仲よく励まし合い解決していく態度づくりをめざしてきました。

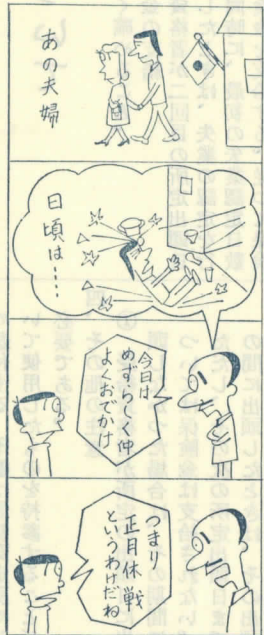
本年度は、昨年度の指導経過を反省検討して「教科の本質の研究」と授業研究、とりわけ最も基盤であるべき

「国語、道徳、学級経営の研究」に視点をしぼつて重点的に進め、他教科の研究もおろそかにしない研究意欲の高揚に努めました。

臨時交通規制のお知らせ



一月一日より二月末日まで次のとおり臨時交通規制を実施致しますので自動車運転される方は御協力下さい。



一、期間 昭和四十四年一月一日より二月二十八日までの間常時

二、区間 朝日中学校前より和泉製材所までの国道及び

び奥道(速度制限を実施している区間) 三、対象 諸車 四、目的 この区間は道路幅員がせまいうえに道路の両側に人家が密集して

いて、除雪ならびに道路幅員を確保するのが困難なため実施するものです。

規制期間中にこの区間に駐車されますと駐車違反に問われますので、あらかじめ駐車場所、車庫などを確保しておいて下さい。

税金のお話 ③

先月号までに固定資産税についての課税の一般的原則のお話を致しました。が、今月は課税上の特例と非課税の範囲等についてお話ししたいと思います。

源泉所得税の還付を受けようとする方へ

大野 税務署

昭和四十三年分源泉所得税の「還付」を希望される方は昭和四十四年一月一日から確定申告書を提出することが出来ます。

▼四期分の住民税、国保税の納期は 一月中

失業保険の取扱いについて

当役場では、村民の利便を考え、今年冬の失業保険の事務を当村で取扱うことにして貰いたい、大野公共職業安定所に要望してまいりましたところ、昭和四十四年一月八日から、三月三十一日までの期間に限り、次の方法によつて取扱うことになりましたので、お知らせします。

この失業保険事務の取扱いは、役場の本来の仕事ではなく、公共職業安定所の権限に属する事務の一部を村長に委せられ、村長の責任において事務を代行するものですから、失業保険金の支給を受けられる方は、この趣旨をよく理解し、役場だから都合がよいなどと言ふ安易な考えを捨て、安定所に出現する場合と同様、法的に定められた正当な手続によつて、かりそめにも不正な行為や誤りのないよう、くれぐれも御注意願います。

一、役場への出頭日
 当村に居住する失業保険受給資格者が、大野公共職業安定所に出頭し求職の申込みを行ない、保険金を受給するための手続を終えたときは以後その者は、一月八日(水)二月五日(水)三月五日(水)三月三十一日(月)の所定日に役場に出頭すること。

二、失業の認定
 役場への最初の出頭日には、支給番号の記載してある失業認定申告書を提出し、安定所で作成された受給資格者証の交付をうけること。また受給資格者が二回目以後の所定出頭日に出現するときは、受給資格者証と失業認定申告書及び保険金請求者を提出すること。この場合、失業認定申告書は事実のとおりを完全に記入し、記載内容に誤りがないかどうか、よく確かめること。

三、保険金の支給
 受給資格者が二回目の所定出頭日に出現したときは、失業の認定を行なうと同時に、最初の失業認定日数分の保険金を支給する。従つて保険金は、二回目分については三回目の出頭日に支給され、三回目分は四回目の出頭日に支給されることとなるが、三月三十一日の失業認定日数分については、四月中(支給日は未定)に役場において支給する。ただし三月三十一日までで認定の終らない者は、四月二日(水)に大野公共職業安定所に出頭すること。また、冬の期間に就職する者は随時(なるべし就職の前日)安定所に出頭すれば保険金は直接安定所において支給される。なお、受給資格証には出頭年月日及び出頭の表示並びに支給金額を記入し、取扱者印を押捺して本人



に返付する。印鑑は最初安定所において使用したものを持参することが必要である。

四、その他の注意

① 受給資格者が所定の出頭日に出現しなかつた場合は、その期間については保険金は支給されない。ただし、その次の所定出頭日までの間に出現したときは、その出現した日からの分については保険金が支給されることとなる。

② また、所定の出頭日に十四日以内の傷病、又は天災地変のため出現できなかったときは、次の所定出頭日に医師の診断書、又は官公庁の証明書の提出があつた場合に限り、保険金は前回の分も合せ一括して支給されることとなる。

③ その他詳しいこと、解らないことがあれば、遠慮なく役場でご相談下さい。役場において解らないときは、大野公共職業安定所に問い合わせして下さい。

バランスのとれた栄養

山菜調理のアイデア (料理講習会)

農協婦人部ではこのほど、へき地における栄養対策の一環として、大野保健所より栄養士を招き、栄養と調理を主とした講習会を開いた。
 地元でとれる野菜や山菜を十分生かした栄養価の高い調理の仕方について興味あるお話しがあり、持ち寄つた材料を使つて調理実習に入り、その出来げへと、経済的なことなどあつて、集つた婦人部員は早速今日からの食卓を賑わすことを話し合いながら、大きな効果をおさめて家路についた。

積雪時における運転免許の特別扱いについて

今年もまた降雪の時期を迎えました。皆さんがご持ちの運転免許証のなかでこの冬、更新を受けられる方は一部次のおり、特別な取扱いを致しますので該当の方は派出所の方へお申し出下さい。

昨年四月より免許証の様式が変りタイプ印刷となりましたので更新検査に行かれてもすぐ、新しい免許証はもらえず約十日あともう一度、古い免許証と交換に向かなければなりません。そこで新しい更新検査がすみ新しい免許証を取りに行かれるとき(古い免許証の有効期限が切れる前後)に積雪が多くて大野市まで行けないなど特別の事情がある方は派出所の方で新旧免許証の交換取扱い手続を致しますから、古い免許証および、安全協会費を持参しておいで下さい。
 なお詳しい事は派出所で問合せて下さい。

新しく/強く/明るく

私達の信条

新しい年を迎えて

あけましておめでとうございます。私達は何時も人それぞれの生活信条をもつて生活して居ると思うが、今年こそ、自分の生活かていが安定出来る様尚一そう努力したいもの、これは自分の生活の安定が確保出来るだけでなく経済の発展と興隆に少しも貢献出来るのだと信じて居たい。個人の発展が村の発展と国家の繁栄へ連なり人類の向上のため役立つものと思つて居る。

新しく、強く「明るく」の三つの言葉を生活信条として行きたいもの、即ち正しくとは、いかなる悪の誘惑に対しても正しい判断をもち「強く」はたとえ理論的に立派なことを知つて居ても実行出来ない者では駄目で、その強い意志を持つ事だ。明るくとは社会生活において人との交際、或いは協調的な立場において生活して行く気持、これら三つの信条をもとに今年こそは大いにがんばりたい。

自分だけは……の

自信が事故のもと

最近、飲酒運転による大形事故が毎日のように新聞紙上をにぎわしてありますが、当村において本格的冬を迎え凍結などによる道路の状態が悪くなりスリップによる事故が多くなるおそれがある。又新年会等と飲酒の機会も多くなり自分はいくらぐらいい量ではという安心感が恐ろしい事故を招きます。運転する人はもちろん家庭を守るお母さんや子供さん全員が皆さんで交通事故による不幸を防ぎ平和な四十四年にしましょう。

あとがき

明けましておめでとうございます。編集員一同謹んで新春のご挨拶を申し上げます。年改り新春を迎えて改まつた気持で執筆しなくてはと思ひながら亦の丹精不足で相変らず内容不十分、一同おわび申し上げます。今年も平和な中に全村益々多幸である様に祈りながら、広報いずみはより一層興味深く常に総ての中正の立場にあつて信頼性ある村の機関紙としての使命を完うしなくてはと一同痛感して居ります。ご愛読とご協力をお願い申し上げます。